

国立大学法人山口大学長の業務執行状況の確認結果について

令和2年3月18日
学 長 選 考 会 議

国立大学法人山口大学長の業務執行状況の評価に関する規則に基づき、国立大学法人山口大学の運営の適正を図るため、次のとおり学長の業務執行状況を確認しましたので、その結果を公表します。

1. 評価対象期間

平成31年2月から令和2年1月まで

2. 経過

(1) 第61回学長選考会議（令和元年12月16日）

学長の業務執行状況の評価方法やスケジュールについて確認し、次回の学長選考会議において、面談を実施することとした。

(2) 第62回学長選考会議（令和2年2月19日）

次の資料を参考に、学長と学長選考会議委員との面談を行い、業務執行状況について確認を行った。

- ・自己評価書
- ・所信表明書（[1期目]平成25年9月12日，[2期目]平成29年8月22日）
- ・監事監査報告書（平成30年度）
- ・国立大学法人評価委員会による業務の実績に関する評価結果（平成30年度）
- ・明日の山口大学ビジョン2015

(3) 第63回学長選考会議（令和2年3月18日）

学長の業務執行状況の確認結果について、最終的な確認を行った。

3. 確認結果

学長選考会議は、上記の経過を経て、平成31年2月から令和2年1月までの学長の業務執行状況についての確認を行った。教育面、研究面及び経営面等のそれぞれの項目の中で、特筆すべき取組は以下のとおりである。

教育面としては、問題発見・解決能力と強い精神力を身に着けさせることを山口大学の教育の根幹とし、専門教育へのデータサイエンス教育の導入による **Society5.0** 到来に対応できる人材の育成、常盤地区にある志道場を活用したアントレプレナー教育によるイノベーション人材の育成を進めている。山口フィナンシャルグループにより本学の学生・教職員・卒業生の起業家を対象とする投資ファンドが設立されたことから、この教育の成果

を生かして山大発ベンチャーの設立のさらなる促進が期待される。

研究面としては、2,600株もの微生物株を有し、全国の共同利用・共同研究拠点化が期待されている中高温微生物研究センター研究棟、地域社会に貢献するグローバル医療人育成のための教育研究拠点形成施設として医修館を整備し研究環境の充実を図るとともに、また、山口大学独自の学際的な研究である山科学プロジェクトを新たに採択している。山口大学連携講座制度を再構築し、企業や自治体と連携した共同研究・社会連携講座を新設し、これらを通じて産学連携及び地域活性化に貢献している。

地域連携としては、萩市に山口大学サテライトラボ萩をオープンし、また、地域未来創生センターにワンストップ窓口を設けて、自治体からの問い合わせの増加につながっている。また、やまぐち未来創生人材育成・定着促進事業（COC+）の文科省からの支援は本年度で終了するが、来年度より新たなCOC+として自立化し、山口県をリードする人材の養成と地元企業との連携強化を展開する等、山口県の基幹大学として地方創生を推進する取組が進められている。

グローバル化としては、学生の海外留学者数及び外国人留学生数は過去最高となり、共同獣医学部がアジア初の欧州獣医学教育国際認証を取得した。経済学研究科経済学専攻公共管理コースはJICA開発大学院連携プログラムとして位置付けられており、大学院創成科学研究科にタイ・カセサート大学とのジョイント・ディグリープログラムを開設するなど、順調に成果を上げている。また、国連が掲げるSDGsの枠組みによる「THE世界大学インパクトランキング2019」で、国内4位と高評価を受けたことも挙げられる。

経営面としては、厳しい財政状況を詳細に分析し、外部資金の獲得増に向けて大学研究推進機構を再編し、大型プロジェクト獲得チームの編成を組織的に行うなど、安定した経営の実現を目指している。また、新福利厚生施設の貸付（FAVO）などの土地・建物の活用、山口大学基金をはじめとした寄付金、広告収入、その他余裕金の運用対象範囲の拡大など、学長のリーダーシップのもと、財政基盤の強化に対する戦略的な取組が挙げられる。

これらのことから、明日の山口大学ビジョン及び第3期中期目標・中期計画の達成に向けて、学長の業務を着実に執行していると判断する。

今後、大学を取り巻く環境が激変し、教学マネジメントの推進、人事給与マネジメント改革、大学の連携・統合などの様々な課題を抱える中で、学長がリーダーシップを遺憾なく発揮して、上記の取組に加え、全教職員とともに大学の機能強化に向けて、したたかにかつ柔軟に対応していくことを期待する。

国立大学法人山口大学長選考会議 委員一覧

職 名	氏 名	ふりがな
株式会社トクヤマ 取締役専務	安 達 秀 樹	あだち ひでき
山口県医師会 副会長	今 村 孝 子	いまむら たかこ
山口放送株式会社 代表取締役会長	岩 田 幸 雄	いわた ゆきお
株式会社山口フィナンシャルグループ 取締役副社長	梅 本 裕 英	うめもと ひろひで
山口トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 テレビ山口株式会社 代表取締役社長	齋 藤 宗 房	さいとう むねふさ
福岡工業大学長	下 村 輝 夫	しもむら てるお
弁護士法人末永法律事務所 弁護士	末 永 久 大	すえなが ひさたけ
宇部興産株式会社 顧問	竹 下 道 夫	たけした みちお
前内閣府 総合科学技術・イノベーション会議議員 東北大学名誉教授	原 山 優 子	はらやま ゆうこ
人文学部教授	脇 條 靖 弘	わきじょう やすひろ
教育学部教授	吉 村 誠	よしむら まこと
経済学部教授	有 村 貞 則	ありむら さだのり
創成科学研究科教授	増 本 誠	ますもと まこと
医学系研究科長	谷 澤 幸 生	たにざわ ゆきお
創成科学研究科長	堤 宏 守	つつみ ひろもり
創成科学研究科教授	宮 田 浩 文	みやた ひろふみ
共同獣医学部教授	度 会 雅 久	わたらい まさひさ
国際総合科学部長	レール マルク	れーる まるく